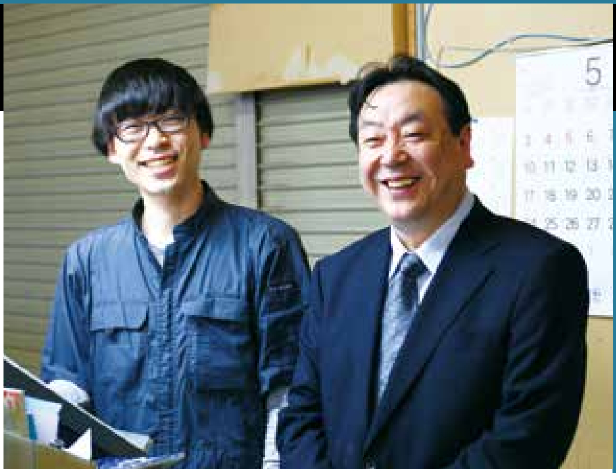
センター活用事例
設備貸与制度

県内小規模企業者・中小企業者が導入を希望される機械設備を当センターが購入し、割賦販売またはリースする制度です。

お問い合わせ　あきた企業活性化センター／設備貸与・応援ファンド担当（018-860-5702）まで。

有限会社雄物川印刷



時代を読み、変化に対応

変革の時を迎えている印刷業界。その中で、時代と顧客のニーズに応え、全国に取引先を拡大している。

最新色校正システムを導入

オフセット印刷、オンデマンド印刷、印刷製本の加工や企画・編集・デザインなどを手掛ける雄物川印刷は今年4月、当センターの設備貸与制度を利用して最新の色校正システムを導入した。色校正とは、多色刷りの印刷を行う際、求める色調が忠実に印刷されるか確認し、色調を整える作業のこと。「刷り上がった印刷物の色と、お客さまの求める色が異なることで発生する色トラブルを防ぐために導入した」と社長の高橋富男さん。今、印刷業界は、紙媒体の減少や価格競争の激化など厳しい現実に直面している。「その中で生き残るためには、技術面やアイデアで優れていないといけない。自分たちは何ができるか常に考え続けてきた」

「オリジナルビンゴカード」がヒット

創業は1992年。印刷システムのデジタル化を見据え、印刷会社に勤めていた高橋社長が独立してスタートした。同社は小規模型の家族経営であり、事業規模は決して大きくはない。また、周囲は田園地帯であり、商業圏には距離がある。しかし、経営規模や立地、業界全体の低迷をものともせず、近年、名立たる大手企業や、話題の新興企業まで全国各地に取引先を拡大している。

同社が全国から注目を集める理由の1つに、オリジナルで制作できるビンゴカードがある。一般的なカードは、1枚ごとに配列を変えた数字だけが印刷されているが、同社の商品はその部分に顔写真や商品写真、イラストなど自由にデータを配置し、オリジナリティを追求することが可能。データを升目にランダムに配置するオリジナルのプログラムも開発した。オリジナルビンゴカードは販売を始めて5年ほどだが、インターネット経由で話題を集め、大手企業の販促キャンペーンやイベントのツール、社内研修や二次会の宴会ツールなど、さまざまな用途に用いられている。販売は、関連会社である東北プリントワールド（株）が行っている。

時代に合わせて変化

このほかにも、納期、価格、品質など、顧客からの要望に対して、きめ細やかに応える姿勢が評価され、取引の継続に繋がっている。また、インターネットを活用した営業活動に力を入れており、時代のニーズに合わせたビジネスを展開している。「紙媒体の情報メディアは規模が縮小され、印刷物が減っていくのは明らか。これからは、ますます“インターネットの時代”になるだろう。それに伴い、我々のビジネスの領域も変化する。時代に取り残されないように模索する日々」と冷静に今後の抱負を語る。Ⓑ

工場で印刷の作業を担当しているのは、高橋社長の息子さん。家族の息の合ったチームワークで仕事に取り組んでいる。

設備貸与制度で導入した色校正システム。実際の仕上がりとほほ同様の濃度や色調を再現。色トラブルを予防する。

オリジナルビンゴカード。さまざまなデザインに仕上げられる。写真（上）のカードはハガキサイズだが、様々な大きさへの対応が可能。

有限会社雄物川印刷
〒013-0481
秋田県横手市雄物川町薄井字東神谷地26
Tel.0182-23-1641
Fax.0182-56-2012
http://print-w.jp